

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)久御山プロジェクト A棟 新	階数	地上2F
建設地	京都府久世郡久御山町東一口東島	構造	S造
用途地域	市街化調整区域	平均居住人員	XXX 人
地域区分	6地域	年間使用時間	XXX 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年12月 予定	評価の実施日	2019年7月26日
敷地面積	35,846 m ²	作成者	大和ハウス工業㈱
建築面積	17,212 m ²	確認日	2019年8月9日
延床面積	34,320 m ²	確認者	大和ハウス工業㈱



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記②以外の ④上記+

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		その他
<p>総合</p> <p>外皮においては、十分な断熱材を施工し熱負荷を抑え、設備においてはLEDの照明を採用するなどしてエネルギー消費量を抑えた建物となっている。</p> <p>天井高を高くする、リフレッシュスペースを多く確保するなど工夫をし、執務者が快適に執務を行えるよう配慮している。</p>		
<p>Q1 室内環境</p> <p>外皮部分に断熱材を施工。執務室には窓を多く設置し、採光可能性を向上させている。</p> <p>給気口、排気口をそれぞれ6m以上離し、新鮮な外気が入る。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>執務スペースの天井高さを2.7mとし圧迫感のない執務空間としている。</p> <p>リフレッシュスペースを広く確保している。</p> <p>耐用年数の高い外装材、配管を採用。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>敷地内の緑化に努めている。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>BPI 0.69 BPI_m 0.56</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>OAフロアを採用し、再利用可能性の向上へ取り組んでいる。</p> <p>断熱材は自然素材計であるGWを採用。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>燃焼機器を採用しないことで、外部空間に汚染物質を排出しないよう配慮している。</p>

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される